

## 西国分寺駅東口問題 国分寺まつり、学童保育



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

### ＜西国分寺駅東口開設の早期実現を＞

岡部：現在でも東口を求める市民のニーズは高いし、都立多摩図書館の開設等に伴ってそのニーズはますます高まる。今まさにJRと交渉するタイミングだ。

都市開発部長：これまでは鉄道駅の中でのバリアフリーのための改修事業が行なわれてきたわけですが、これからは駅から外へということで東口の開設が充分考えられる事業ですし、公共性もきわめて高い。

### ＜国分寺まつり出店拒否問題＞

岡部：今年の出店を拒否された団体に例年通り参加を認めるよう強く求める。

市民生活部長：判断の撤回等については実行委員会での判断ですので、この場でのどうするとかのご回答は出来ない。

岡部：実行委員会に再度投げかけ頂きたい。

市民生活部長：頂いたご意見は伝える。

### ＜学童保育所に設ける基準について＞

岡部：開所日数年間250日以上、開所時間は学校のある日は3時間以上というのは、市立学童保育所では土曜日開所、午後7時までとなっている現行から後退する基準ではないか。

都部長：民間事業者が算入することになればこの最低基準を守っていただく。

岡部：事業者との協議うんぬんではなく条例できちんと水準を確保すべき。学童保育所に格差を持ち込むもので、絶対に認められない。

※ その他、集団的自衛権、放課後子どもプラン、史跡公園の管理についても質問しました。

## 国分寺駅周辺の駐輪場を 抜本的に増設せよ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸) 国分寺駅周辺の駐輪場が足りていないのに、市は「対応できている」としてきた。しかし、7年前の市の計画に照らしても500台以上不足しており、姿勢を根本的に改めるべきだ。

部長) 約500台が不足状態で、利用者にご不便

をおかけしていると再認識した。少なくとも500台強は利便性が高い場所に戻したい。

幸) 北口再開発の理念でもある、駅利用者の利便性の確保さえ後退している。予算の使い方も含めて、再開発一辺倒の市政を是正すべきだ。

幸) 公共施設4か所にある入浴施設が閉鎖されてから2年間、全く利用されていない。地域福祉計画で、地域資源の有効活用というなら、交流・健康の場として再開するしか道はない。

部長) 貴重な地域資源ではあるが、再開という判断は出来ない。入浴以外で利用を考えたい。

幸) 見守りネットワークについて、立川市が多くの団体と協力し、子ども、高齢者、障がい者等、全ての市民を対象とした見守りシステムを構築している。市も参考にして取り組むべきだ

部長) 今回、見守りの基本方針をつくったが、立川市や先進市の例を参考に研究していく。

幸) 介護保険の法改定により、要介護認定申請の前に、チェックリストという簡易チェックの導入が示された。公平な認定審査の実施に、著しい問題を持ち込むもので、実施すべきでない

部長) チェックリストを受けることで、総合事業にすぐ結びついていける。これは適切に運用していかなければならないと考えている。

他、指定管理者制度の問題などを質問しました

## 新町ゲートボール場2面、 公式でなくなる問題



無会派(無所属) 甲斐 よしと

問) 新町樹林地のNPOの利用は「緊急避難的」「恒久的ではない」と答弁してきた。換言すれば暫定的な利用に対し、当該寄附樹林地を恒久的な上下水道を含めた道路化、トイレ設置等は矛盾する。なぜなら、「まちづくり条例の7条(4)緑の基本計画はまちづくり基本計画としてまちづくりの基本としなければならない」だ。これを反古にして、同じまちづくり条例の道路巾6Mだけを遵守している。「緑の基本計画」には「市内の樹林地については市民共有の財産と考え市民からの寄附や寄贈を受けて公有地化を進めます」と、その上で「新町一丁目の雑木林はさまざまな生物が生息するビオトープとして、その豊かな自然環境を保全します」とある。緑の基本計画の改定がなければ、まちづくり条例に違反している。改定など無いはずだ。

都市建設部長) 現緑の基本計画に記述されてる。問) ならば寄附樹林地の利用は暫定であり、樹

林敷地を恒久的な道路、施設整備には使えない。福祉保健部長) 議員指摘のとおり緊急的に移ってきた経緯で永久的ではない所でも、一定の期限は必要だということだ。

問) ゲートボール場が2面共、公式サイズでなくなる。行政を進める上で、新たな問題が発見されたのに無理くり計画だと進めるのは最悪だ。福祉保健部長) 現段階では進めていきたい。

小中学生のスマートフォン等の利用の指導は? 教育長) 家庭でルールを作っていただく方針だ。

問) そのルールを御提示いただき把握すべきだ。教育長) 今後、その取組みを考えてゆきたい。

## 市長就任から早1年。 役所の膿を出し切れ!



政策市民会議国分寺 木村 徳

木村=市役所組織について、現在は部長、課長、係長となっているが、その間に、上の役職の見習いのような位置づけの役職を新設し、上の役職が務まるか判断できる組織に改革すべきだ。

市長=職員には常に1つ上の仕事を、と言っているが色々不備が出ている。指摘のように職制を変えることで事務執行の改善につながるし、その道筋をつけられると考える。

木村=職員の勤務時間は8時30分から5時15分である。民間でも始業時間前に余裕を持って出勤するのは当前なのに、職員組合は分単位で、はみ出た時間を累積し、サービス残業だと主張しており、おかしい。

総務部長=市長の指示のもと、事実関係の調査や検証をし、明確にしなければならない。

木村=内部事務のミス無くすためにそもそも何をチェックすればよいかのかわかっていないのではないかと。全庁的にチェックすべきことを全てリスト化し、条例等のルール化をすべきだ。

政策部長=業務プロセスの分析でマニュアル化し、そこにチェックリストを組み込んでいくことを早期に着手する。

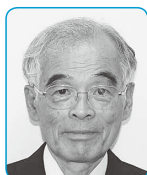
木村=現在、年度途中の退職の場合、半年以上で1年分の計算で退職金が支給される。また、有給休暇支給の基準が1月からのために、退職年度には3月までに1年分の有給休暇が支給されている不合理もある。速やかな改善を。

総務部長=退職手当について、国は切り捨てであり、改めていかなければならない。有給休暇についても問題が解消されるように考える。

## 一般会計決算議案に対する討論の要旨

9月30日の本会議で平成25年度一般会計決算議案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論の順番に掲載しています。

## 市財政の改革に前進 ・井澤市政を評価



自民党・市民クラブ 村松 俊武(所属8名・賛成)  
※議長は表決に参加していません。

まず、25年度決算の審査終了までの間、市長をはじめ多くの方のご努力に感謝いたします。決算の内容について何点か申し上げます。とくに強調したい点は、次の3点です。

1. 単年度収支の黒字が回復した。
2. 経常収支比率が3年連続改善できた。

3. 公債費比率が6年連続改善できた。

以前から長い間、市財政の改善が議論されてきましたが、実現しませんでした。25年度の上記3つの実績は、将来への大きな前進のスタートとして高く高く評価できます。

さらに次の3点も成果として申し上げます。

1. 老朽化した施設、設備に対する速やかな予備費の対応
2. 第4次長期総合計画の着実な進捗
3. アウトソーシングの推進による人件費の削減

こうして通常の事業執行についてはきちんとされていましたが、議会の強い指摘により、たび重なる職員の不祥事が明らかになりました。

こうした中では、決算の認定はとてむずかしい状況でした。しかし、市長、教育長からは調査をきちんと行い、責任を明らかにしていくこと、全庁的直直し、改革にとりくんでいくことなどが発言されました。

私たちは、市長、教育長の真摯な態度に希望を託し、改革の決意に展望を見い出せると確信しています。市長ともども市の改革にとりくんでいく意志を表明し、自民党・市民クラブの決算の認定の討論とさせていただきます。